

# 教 育 委 員 会 だ よ り

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の 結果について

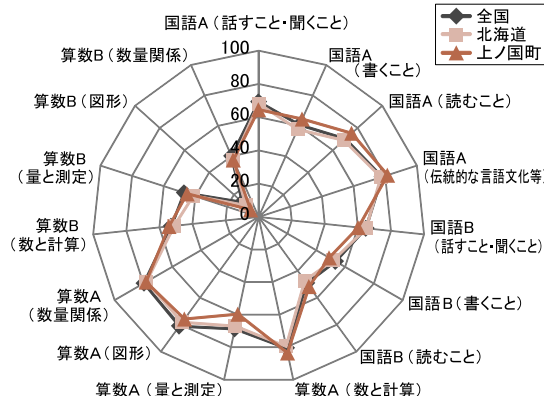
今年4月に町内の小学校6年生（31名）、中学校3年生（40名）を対象に行われた全国学力・学習状況調査の概要をお知らせします。  
学力調査は小学校6年生の国語・算数、中学校3年生の国語・数学の各2教科でそれぞれA問題（基礎）・B問題（応用）に分けて行われました。

### 1. 調査の目的について

本調査は児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教科指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。なお、本調査の結果は児童生徒が身につけるべき学力の特定の一部であり、教育活動の一側面である事に留意が必要です。

### 2. 調査結果の概要について

#### 小 学 生



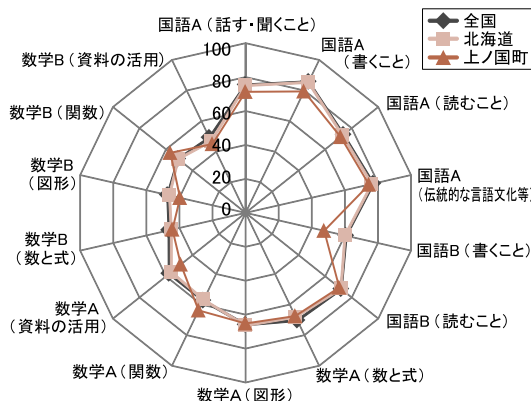
#### 「国語」

- ・ A問題では、「話すこと・聞くこと」の領域では全国、全道を下回っているが、他の領域では全国、全道を上回っている。
- ・ B問題では、読むことの領域では全国、全道を上回っていますが、話す聞く、書くことが若干下回っているが大きな差は見られない。

#### 「算数」

- ・ A問題では、数と計算の領域で全国、全道を上回り、数量関係で、全国比較を若干下回っているものの、全道比較では上回っており、他2項目は若干下回っている。
- ・ B問題でも、数と計算の領域で全国、全道を上回り、量と測定及び数量関係で全国比較を若干下回っているものの、全道比較では上回っている。
- ・ 図形問題に課題が見られます。

#### 中 学 生



#### 「国語」

- ・ A問題では、全ての領域で若干全国、全道を下回っている。
- ・ B問題でも、全ての領域で全国、全道を下回っている。
- ・ 特に、場面の展開や登場人物などの描写を注意して読み、内容を理解したり、表現の仕方について自分の考え方を書く部分に課題が見られます。

#### 「算数」

- ・ A問題では、「関数」の領域で、全国・全道を上回っていますが、他の領域では全国、全道を若干下回っている。
- ・ B問題でも、「関数」の領域では、全国・全道を上回っていますが、他の領域では全国、全道を若干下回っている。
- ・ 与えられた情報や式を用いて数学的な表現や説明をすることに課題が見られます。

### 3. 成果と課題について

#### (1) 成 果

- ・ 小学校では、ほとんどの児童が楽しく学校に通学していると考えており、勉強で理解していないところを、先生達は解るまで教えてくれると考えている。また、地域や社会で起こっている問題や出来事に興味を持ち、積極的に地域行事に参加し、社会参加意識が醸成されている児童が多く見られます。
- ・ 中学校では、学校で友達に会うのが楽しく、みんなで協力して何かをやり遂げることにうれしさを感じ、学校生活の充実や団体生活を楽しんでいる状況が見て取れます。

#### (2) 課 題

- ・ 小学校では、家で学校の宿題はやっているが9割を超えているが、予習・復習をあまりしていないと答えた児童が全国・全道よりも多いことから、学習の定着を見据えた予習・復習に課題が見られます。また、テレビゲームやスマートフォンゲームなど行う時間を比べると、全国よりも2割程度多いことから、帰宅後の時間の使い方に課題が見られます。
- ・ 小中学校では、テレビゲームやスマートフォンゲームなどを行う1日当たりの時間が全国、全道と比較し長い割合であるという結果から、家庭での時間の使い方に課題が見られます。

### 4. 学力向上の取組について

本調査の結果に基づき様々な角度から分析を行い課題を解消するため、各学校では、基礎基本の学力の定着を図るべく、授業改善のため校内研修や各種研修を行い教職員一人ひとりのスキルの向上および指導方法工夫改善定数加配教員等による有効的なチームティーチングや少人数指導などを行い、児童生徒の学力アップに努めます。

また、お子様のご家庭でのテレビゲームやスマートフォンゲームなどの割合が多いことから、子ども達の学習習慣の確立が急務とされますので、家庭学習のあり方について、保護者様のご理解とご協力をお願いいたします。